

前回会議でのご提案内容（会議の論点）

	企業イメージに 起因する部分	企業の労働環境 に起因する部分	企業の経営基盤 に起因する部分
学生の 視点	<ul style="list-style-type: none"> • やりたい仕事（職種）ができる • 社風がよい • 働きがいがある 	<ul style="list-style-type: none"> • 勤務制度・福利厚生がいい • 休日・休暇が多い 	<ul style="list-style-type: none"> • 安定している • 給料がよい • これから伸びそう
会議での 意見	<ul style="list-style-type: none"> • 知名度はなくとも、やりがい等があり安定している企業はあるが、学生が知らないこともあると思う。 • 企業が「待ち」や「受け」の状態では学生に情報を届けることができない状況になっている。 • 人員や予算の少ない企業には、何らかの枠組みでの支援が必要だ。 • 若者が使用するのはWebツールが中心になっている。 • 企業のPRには明確な理由とその裏付けが必要だ。的確な説明は企業の魅力につながる。 • IT分野の企業を含めた専門的・技術的職業の受入先企業が少ないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一人当たり県民所得が低く、一人当たり雇用者報酬が高い傾向にある。女性の就業率に問題があるのではないか。 • 女性のみならず男性の就業率も低い。 • 働き方に応じた受注の調整や、同一労働同一賃金の導入など、様々な方法を駆使して、利益を上げながらどう働いてもらうかという視点が重要だ。 • 首都圏では家事サービスの提供主体が多いように聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 75%の中小企業が賃上げを価格転嫁できていない。 • データ連携等を含めた生産性向上が喫緊の課題だ。 • 道路等のストックの高いインフラ整備が産業を呼び込む要因になるのではないか。 • 最低賃金は大卒初任給より、高卒初任給やパート労働者への影響が大きい。 • 最低賃金を上昇させるためには、都道府県ランク分けの基準になっている指標の向上が必要だ。
想定される 検討項目 (案)	<ul style="list-style-type: none"> • 企業のPRの強化 <ul style="list-style-type: none"> > PR内容 ex. キャリアパス・社内制度の考え方 > PR手法・媒体 ex. Web、インターンシップ 	<ul style="list-style-type: none"> • 働きやすい環境整備 <ul style="list-style-type: none"> > 望ましい制度・水準 > 多様な働き方への対応 ex. テレワーク サテライトオフィス • 住環境等の周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> > 子育て世代を支援する産業育成 ex. 家事・育児サービス > 社宅の整備 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業の生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> > IoT導入による効率化 • 所得水準の底上げ <ul style="list-style-type: none"> > 最低賃金ランク分け 各種経済指標の向上